

2011年10月号

いばせき広報室

茨石商事株式会社

〒315-0013

茨城県石岡市府中2-3-19

TEL 0299-24-2680

FAX 0299-23-8056

ホームページ <http://www.ibaseki.com>

E-mail ibaseki@arion.ocn.ne.jp

お客様とIBASEKIを結ぶホットライン

ワクワク通信

私たちは エネルギーと生活関連事業を通じて
地域の顧客満足No.1企業を目指しています

社長エッセイ ソウエネハウス?

9月12日、私は横浜にある未来の総合エネルギーを体験できる実験ハウス、いわゆる「創エネハウス」を視察して来ました。

これはエネオスが現在考えられている、そして将来有望視されているエネルギー機器を複合的に設置し、様々な家族構成の社員に住んでもらい、各種データを収集し今後のより良いエネルギーのベストミックスを研究し、併せてCO2を削減するという施設なのです。それでは、内容の一端を紹介いたします。

先ず自然エネルギーを生かす為の建物の造りです。高断熱・高気密性のある外壁で閉じ、温熱・冷熱を逃がさず少ないエネルギーで内部空間の温度をコントロール。屋根から外気を取り込み、床下の蓄熱材に熱エネルギーを蓄え、内部空間に送ります。(太陽熱空調システム)



壁にはFRP
グレーチング



通風窓を各所に



<http://noe.jx-group.co.jp/lande/product/soene/visit/index.html>

時間 10:00~12:00 / 13:30~15:30

「熱」「風」「光」を全体に行き渡らせます。開放的であるから家族の気配、季節の移り変わりを感じられる暮らしができるのです。これが基本となり、それをサポートするのが各種エネルギー機器です。紙面の関係上、概略を説明します。

1. 太陽光発電システム (発電し照明用等)
 2. 太陽熱温水システム (主に給湯用)
 3. 太陽熱空調システム (建物全体の空調)
 4. エネファーム (ガスで発電+給湯)
 5. リチウムイオン蓄電池 (深夜電力利用)
 6. ペレットストーブやガス給湯器エコジョーズ、
- 等々挙げれば限りありません。ご興味のある方はぜひ実物を体験してみてください。創エネハウスについては次のとおりです。

【要予約】

〒222-0003
横浜市港北区大曽根1-6-21
見学日 毎週火曜、第1、3土曜

ワクワクふるさと紀行

霞ヶ浦と遊泳場

いま、霞ヶ浦は日本で2番目に大きい湖ですが、江戸時代中頃までは海でした。大昔は、関東平野に入り込む内海だったのです。

古代、霞ヶ浦は「流海」と呼ばれていました。常陸国風土記や万葉集にその名が出てきます。中世になると、流れ海の出口が次第に狭くなりました。海から湖へと変わったのは、利根川の東遷でした。江戸時代の当初、東京湾に注いでいた利根川は、60年かけて関宿・佐原・銚子を経由する現在の川筋に瀬替されました。

これは徳川家康の命を受けた伊奈備前守忠次が、忠政・忠治と親子三代にかけて成し遂げた大土木工事でした。これによって江戸の町は洪水の心配が減ったものの、利根川と合流する霞ヶ浦の水郷地帯は徐々に土砂が堆積し湖となったのです。このころは「内の海」あるいは「霞の浦」と呼ばれ、江戸時代に入り霞ヶ浦と呼ばれるようになりました。

明治以降は完全な湖となり、ワカサギ漁などの漁業が盛んになりました。美しく澄んだ湖水、湖畔には青い松と白い砂があり、遠浅で優しい波が寄せていました。そんな環境のもと、遊泳場が何カ所も出来て、夏になると大勢の



昭和10年代の桃浦遊泳場

遊泳客で賑わいました。玉造町の桃浦を始め、出島村の歩崎、麻生町の天王崎、土浦市の大岩田、桜川村の浮島など、一大観光地でした。写真は桃浦の遊泳場で、鹿島参宮鉄道の桃浦駅のすぐそばにあり、石岡からたくさんの子供たちが訪れたものでした。日傘をさした二人の貴婦人、その脇で子供が水遊びをしています。遠浅の水辺には、何十人という人が遊泳を楽しんでいます。昭和40年代になって、水質の汚濁が目につくようになり、大腸菌の増加とアオコの異常発生などで遊泳場は次々と閉鎖していききました。昭和47年に天王崎が不適となり、翌年には最後まで残った歩崎水泳場が閉鎖されました。いま、桃浦を訪れると遊泳場の跡も鉄道もなく、ログハウス造りの駅舎だけが湖畔にポツンと佇んでいます。

『いばせきフェスタ』に
200名を超える来場者！

先月25日、いわし雲が広がる爽やかな空の下、グリーンパレス石岡にて「いばせきフェスタ」が盛大に開かれました。

ご来場者数が200名を超え、賑わいと活気に包まれた会場では、コンロやストーブ、家電製品などが展示されています。それらの製品を手に「大きさも丁度いいし、使いやすそうね」などと、感心の声が聞こえてきました。

チャリティコンサートオープニングは、伊東真紀さんのオリジナル曲で盛り上がり、ステージと客席がひとつになり、皆で心に残るハーモニーを奏でました。

後半は、今井亮太郎さんのピアノをバックに、伊東さん本人が書き下ろした復興支援をテーマにした詩の朗読を披露しながら、幼少期に過ごした懐かしい石岡の思い出話も交え、穏やかに時が流れました。



伊東真紀さんと今井亮太郎さん

午後1時から開始したチャリティバザーは、想像以上の大反響。家族で持ちきれないほどの大箱をレジへと運ぶ姿があちらこちらに…。品揃えといい、価格といい皆さんご満悦の様子でした。



空クジなしの抽選に大興奮

ここで改めて、開催前からたくさんのお客様へ、書面をお借りして御礼を申し上げます。おかげさまで、おまして、バザーでの収益金は、23,880円にもなりました。また、焼きそば&たこ焼きコーナー、チャリティコンサート場に設置された義援金箱への募金は38,820円。合計62,700円が集まりました。皆様の善意がたくさん詰まった義援金の全額を、10月4日、日本赤十字社と石岡市役所へ届けて参りました。我々単一企業のみの方では、これほどのチャリティイベントを成し得る事はなかなか難しく、地域の皆様と心をひとつにできたからこそ、開催できたのだと本当に嬉しく思っております。

今後皆様と一緒に、地域に根ざした活動を続けて参りたいと思います。ご協力、誠にありがとうございます。イベント実行委員会スタッフ一同

茨石商事(株)・茨石ガス(株)

気になるお店

高安桐工芸

昭和51年につくられた石岡市民音頭の3番にこんな歌詞があります。

「水がよいとこ 酒どころ タン 入たかさんつくるとこ」

かつて桐タンスと桐下駄は、石岡の特産品でした。市内の至る所に桐畑と桐材置き場があり、家具屋と下駄屋が何件もあり、桐製品が店頭を飾っていました。桐材店も何軒もあり、家具などの材料を供給していました。高安桐工芸は、その中でただ一つ今でも営業している桐材店です。

桐材は軽く美しく柔らかく、生活の場では大変扱いやすい素材の一つです。

その長所を生かし、三代目店主・高安尚訓さん(33)は、いくつものチャレンジを試みています。桐材は安全な秋田産の無垢材にこだわり、ま

な板やティッシュボックス、積み木など新しい発想のもと斬新なデザインの製品を作っています。



積み木は子供達にも安心

清潔さと高級感あふれるまな板はその代表格で、使いやすいさも卓越しています。大きさは、42x24.5cmの大(2800円)から20x20cmのミニ(1300円)まで5種類あります。滑りにくく刃当たりが良いのが特徴で、料理するのが楽しくなる雰囲気を出しています。

ティッシュボックスは手に取るとまさに芸術品で、ティッシュが廠かなものに見えてきます。その他にもコースターや積み木など、創意にあふれた身近な製品が販売されています。



高級感あふれる桐のティッシュボックス

「今日までやって来られたのは、製材を自分の所でやってきたからでしょうね」とは尚訓さんのお父さん。実感のこもった言葉です。

高安桐工芸の営業広報は、妻の由佳理さんが支えています。ホームページ(高安桐工芸で検索できます)やブログからは、ご夫婦のひたむきさと情熱が伝わってきます。

桐材に触れることが少なくなった昨今、この確かな桐製品を使ってみてはいかがでしょう。

高安桐工芸 日祝休み
石岡市村上286 1
TEL 23 2601
営業 午前9時~午後6時



高安桐工芸の作業場

「読者プレゼント！」

気になるお店で紹介した「桐のティッシュボックス」を抽選で5名様にプレゼントします。

お申し込みはおハガキで、住所・氏名・TEL・ワクワク通信の感想をお書き添えの上、10月30日までにご応募下さい。【当日消印有効】

T315-0013
石岡市府中2-3-19
茨石商事(株) いばせき広報室
「桐のティッシュボックス」プレゼント係

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。